



令和5年4月7日

かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

4月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

共に生きる子の育ちを大切に

校長 小林 京子

春の気配に導かれ、3月17日（金）93名の卒業生が胸を張り巣立っていきました。校門脇の桜の木や花壇の花々が次々に開花し、上瀬谷の広い敷地に春がやってきました。

卒業式の朝に行われた「はばたけ6年生の会」では、下級生たちが6年生に感謝の気持ちを歌や言葉で丁寧に表現しました。在校生みんなで心を合わせ、6年生に向けるまなざしに、子どもたちの成長と感性の育ちを感じ、その健気さには、思わず涙がこぼれました。

そして、卒業式では、保護者や学校懇話会委員の皆様、子どもたちの少し大人になった表情をお見せすることができました。本当に久しぶりの「マスクなし」の子どもたちの姿を見ながら長かった3年間を振り返り、何ができるかを考え勇敢に学校生活を送ってきた子どもたちの成長ぶりに喜びを感じました。3月24日（金）には、桜が咲く校庭で、離任する職員8名を全校児童で見送りました。さらに、本日は、59名の新1年生を迎え入れ、上瀬谷小学校全校児童347人の子どもたちで、緊張と喜びの中、令和5年度のスタートをきることができました。これもひとえに、学校及び子どもたちを保護者の皆様、地域の皆様に支えていただいております賜物と、心より感謝いたします。

さて、今年度も、学校教育目標「豊かな感性を養い、共に生きる子の育成」に向かい教育活動を進めて参ります。その具現策の一つとして、本年度4月より教室配置を大きく変えました。異学年の子どもたちが触れ合うことで心が育つことを大切にしたい配置です。子どもは子ども同士のかかわりで育つと考えています。特に、年齢差の大きい1年生と6年生の教室が近くになることで、6年生は、小さな1年生をどのようにサポートすればよいのかという問題を解決し、1年生は人に教えてもらう時の素直な態度や学校生活の第一歩を学びます。6年生と5年生の教室も隣同士になりました。高学年としてのふるまいや学習も共に学んでいきます。3・4年生、1・2年生にも同じような学びの課題があります。

新6年生は、今春卒業した6年生から教わったソーラン節やきらぼか班でのリーダーシップのとり方を学んだことが心に残り、自分たちもそうなりたい、そして、入学してきた1年生にたくさん関わりながら成長していきたい、と言っています。私たち上瀬谷の教職員は、そんな子どもたちの願いをかなえるべく、黒子となって、どの子も主役になれる場面を創るよう応援していきたいと考えています。昨年度2月の入学説明会で「(1年生の入学を)待っています」と伝えた上級生と新1年生の生活がいよいよ始まります。どの子たちも自分を高めるために、全校の仲間と共に、張り切ってスタートする4月です。今年度も上瀬谷小学校の子どもたちを皆で育めるよう、どうぞよろしく願いいたします。